

S 地域・コミュニティの発展



東南アジア教育環境向上への貢献（通信環境及び教育環境の提供）

私たちは2021年4月1日、自社が持つ衛星回線などを通じてすべての子どもに学びの場を提供することを目指す「スカパーJSATスクール」を、日本ユネスコ協会連盟の協力の下、カンボジアのシェムリアップ州クロライン郡スニョル・コミュニンに初めて開校しました。将来的には衛星回線を用いた通信環境の構築や映像教材の配信など、スカパーJSATだからこそ可能な支援の拠点として運用していく予定です。

「スカパーJSATの資源を活かして東南アジアの子どもたちに教育の機会を提供する」という理念の下、私たちは、2014年に「東南アジア教育支援プロジェクト」を発足し、これまでにさまざまな取り組みを行ってきました。

東南アジアでは国や地域によって、所得の差が大きく、家が裕福でなければ小・中学校を中退してしまうことも珍しくありません。中退した子どもたちは、将来の就職機会も限定されてしまいます。そうした子どもたちに、学習面や就職面で将来の選択肢を増やすため、立ち上げから現地住民による自立運営まで継続的にサポートする新たな取り組みとして、日本ユネスコ協会連盟と協同で、「スカパーJSATスクール」を建設することにしました。

「スカパーJSATスクール」は、2015年から協業し信頼関係が深い日本ユネスコ協会連盟が行う「世界寺子屋運動」を通じて、現地のネットワークを活用した、安定的、かつ持続可能な教育を目指した取り組みです。日本ユネスコ協会連盟現地事務所を通じた「スカパーJSATスクール」の運営支援、定期的な訪問などの活動を行い、2031年度までに自立運営できるようサポートする予定です。

今後は、「スカパーJSATスクール」だけでなく、日本ユネスコ協会連盟が管理・運営しているほかの寺子屋にも支援を検討しており、生まれた環境に左右されず、誰もが自分の夢に向かって進むことができる環境を、少しでも多く提供できるように貢献し、より豊かな社会の実現に向けて取り組んでまいります。



江東区東陽・新砂地区に「汐浜テラス」を開設

—地元町会、行政機関、地元企業が連携して運河に賑わいを創出—

「汐浜テラス」は、水面を眺めて憩う空間として設置されたウッドデッキテラスです。スカパー東京メディアセンターの目の前の汐浜運河沿いには、水面を眺めながら憩い、滞在できる空間が不足していました。そこで運河沿いの公園の一部を「汐浜テラス」として再整備しました。

整備に当たっては、「東陽・新砂地区運河ルネサンス協議会」に加盟するIHI、スカパーJSAT、竹中工務店が主体となり、地元町会、その他協議会加盟の地元企業、行政機関等と協力して運河のポテンシャル発揮、防災・健康に寄与する水辺の賑わい空間の創出を目指し、2020年7月にオープンいたしました。

江東区は、30kmにも及ぶ都区内で最長の水辺空間を有す

る区です。この水と緑あふれる空間を地域資源として最大限活用し、人々が住みやすく、働きやすいエリアとなるために、今後も地域の街づくりに貢献していきます。

